

## 第5回AACサウンドパフォーマンス道場

\*選考委員：桜井圭介（音楽家、ダンス批評、吾妻橋ダンスクロッシング・オーガナイザー）  
 畠中実（NTT インターコミュニケーションセンター [ICC] 主任学芸員）  
 山本裕之（作曲家、愛知県芸術大学音楽学部准教授）  
 藤井明子（愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員）

■作品公募期間：2011年6月1日(水)～7月15日(金) 応募数：21企画

\*関連事業「プラザシアター」会場：アートプラザビデオルーム  
 6/7(火)～11(土) 各日とも17:00ー これまでのAACサウンドパフォーマンス道場記録映像の上映

6/12(日) 14:00ー 「こんな作品を待つ！-AACサウンドパフォーマンス道場で期待するもの」

出演：佐近田展康、三輪真弘、山本裕之、藤井明子

\*新旧のAAC道場選考委員によるシンポジウム。U-streamで中継を行った。

### ■第1回プレゼンテーション

日時：2011年8月23日(火) 16:30～20:00

会場：アートラボあいち

内容：4人の入選者による、入選作品についての説明および作品の一部の紹介上演。それに対して、選考委員や観客からの質問、コメント、アドバイスなど。



### ■第2回プレゼンテーション

日時：2011年9月10日(土) 18:00～21:00

会場：愛知県芸術劇場小ホール

内容：本公演と同じ会場である小ホールでの、入選作品のテスト上演。それに対して、選考員からのアドバイス。



### ■本公演

日時：2011年10月2日(日) 上演 13:30～15:30

公開講評&審査会/表彰式 15:45～19:00

会場：愛知県芸術劇場小ホール

内容：・上演

1. 井藤雄一『fmiSeq』
2. ヒッチハイカー『ヒッチハイク』
3. 堀江俊行『ずれ木魚』
4. 垣尾優×高村聡子『一撃1200』

・公開講評、優秀賞の公開審査会、各賞の発表、表彰式

○優秀賞：堀江俊行『ずれ木魚』

○オーディエンス賞：垣尾優×高村聡子『一撃1200』



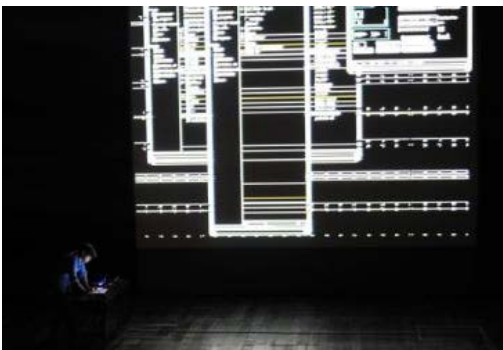
入場者数：	第1回プレゼンテーション	60人
	第2回プレゼンテーション	25人
	本公演 上演	57人
	〃 公開講評&審査会/表彰式	45人
	合計	187人

このプロジェクトは、若いアーティストから“音を用いたパフォーマンス”の企画案を公募し、発展性のある企画をブラッシュアップさせて上演する機会を与えるもので、若手アーティストの育成支援を目的に開催している。今回が5回目であり、選考委員を一新して、さらに多様な作品案の応募を期待した。

本公演では7月末に書類選考され入選した4企画が上演された。入選から上演までに、入選者は2回のプレゼンテーションを経なければならない。本公演で上演されたのは、そうした過程を経て練り上げられた作品だった。

上演後の選考委員による公開講評において、上演作品はいずれも、若いアーティストの高い意欲に支えられよくできた点もあるが、まだまだ課題は多いというのが全体の意見であった。それぞれの上演作品について評価できる点や課題を丁寧にコメントした結果、予定時間を2時間近くも超過して、ようやく優秀賞を決定した。選考委員も舞台上で意見を出し合い悩みながら、どこに評価軸を置きなぜそれを選ぶのか、選考委員が真剣に議論し選ぶ様子を見せ聞かせたことがまた、新しい作品の創造やアーティストの育成につながっていくことを期待したい。

#### 1. 井藤雄一 『fmiSeq』



#### 2. ヒッチハイカー 『ヒッチハイク』



#### 3. 堀江俊行 『ずれ木魚』



#### 4. 垣尾優×高村聡子 『一撃 1200』



公演撮影：加藤光